

10月30日(金曜日)「真に恐れるべき方」

【新改訳 2017】

ルカ 12・4、5

「……からだを殺しても、あとはそれ以上何もできない人間たちを恐れてはいけません。……殺したあとで、ゲヘナに投げ込む権威を持っておられる方を恐れなさい。そうです。あなたが
に言います。この方を恐れなさい。」

人生の中で「恐れる」ということを真に正しく知る人は幸せだと言えます。

ある日本の政治家が外国で話をした時、「私は、神も人も恐れない」と語って失笑を買ったという記事を読み、びっくりしたことがあります。日本人の宗教心は案外、この程度なのかもしれないかもしれませんが、それでは済まされません。

真の神は、生殺与奪の権を持っておられる絶対者なのです。地上の生命だけでなく、死後の、永遠のいのちにまでかかわる主権を持っておられるのです。箴言からも学びましたように、「主(神)を恐れることは知識の初め」です。しかし、「人を恐れるとわなにかかる。しかし主に信頼する者は守られる」のです。

まことの神を正しく恐れることを学びましょう。

～祈り～

主よ。あなたを、そして、父なる神を恐れる者であらせてください。あなたよりも人や悪霊を恐れてしまう私たちを、どうかあわれんで守ってください。

【学びのために】。

ゲヘナについて:「ピノムの谷に由来し、永遠の刑罰の場所を指す語となりました。さばきの象徴とされ、「地獄」の同義語としても用いられます。